

報告タイトル（＊日本語と英語両方ご記入ください）

韓国と多国間チャンネルを通じた「民主主義の促進」

: 世界選挙機関協議会（A-WEB）を事例に

South Korea and Democracy Promotion through Multilateral Channels

: The Case of the Association of World Election Bodies (A-WEB)

氏名（所属）

金 孝淑（神田外語大学）

Kim Hyo-sook (Kanda University of International Studies)

要旨（800 字程度）

2000 年代以降、「民主主義の促進」における新興民主主義国の台頭は顕著である。これらの国による「民主主義の促進」にはいくつかの共通点が見られる。その一つは、相手国への内政干渉を回避するために多国間チャンネルを通じた支援を優先する傾向がある点であるが、しかしながら、その実態は解明されていない部分が多く残されている。このことを受け、本報告は、「民主主義の促進」の多国間チャンネルとして「世界選挙機関協議会（A-WEB）」に焦点を当て、同協議会への韓国の関与の実態を明らかにすることを目的とする。A-WEB は、自由、公正、透明かつ参加型の選挙の実施を促進することを目的とする国際民間組織であり、2013 年に設立された。その設立には、韓国の中央選挙管理委員会が主導的な役割を果たし、本部は韓国のソンドに位置している。2025 年現在、A-WEB には 109 の国・地域から 119 の選挙管理委員会が加盟している。オーストラリア、カナダ、フランスなどの国々を除けば、加盟機関のほとんどは新興・後発民主主義国からの組織である。本報告では、「民主主義の促進」のための多国間チャンネルとして A-WEB の主要な二つの機能（選挙管理に関する情報と知識の共有と国際選挙支援事業の実施）を検討する。また、A-WEB は設立当初から韓国に財政的にも行政的にも依存してきた。本報告では、これが A-WEB の運用にどのような問題点をもたらしたか、またその問題点を克服するためにどのような組織改革の努力が実施されてきたかも分析する。その分析結果は、西側先進諸国が主導してきた「民主主義の促進」に対する新興民主主義国の影響を解明する上で有益な知見を提供できるだろう。